

こんにちは。10月もあっという間に過ぎ、留学生活も残すところ約一か月となりました。10月は、現地の高校での最後の試験や課題提出にむけて勉強を頑張りました。先日、現地校におけるすべてのアセスメントと試験を終え、今は解放感に浸っています。加えて、ホストファミリーと少しでも多くの思い出を作るために毎週外出をしていたので、勉強も遊びも忙しくした月でした。遊びに行った中でも特に、ゴールドコーストにあるムービーワールドが楽しかったです。私はDCコミックの大ファンなので、映画の舞台を忠実に再現した園内やアトラクションに終始大興奮でした。その他にも、一日で周りきれないほど大きいオーストラリアズーに行ったことも印象に深く残っています。そこはブリスベンで最も人気なスポットと呼び声高く、実際クロコダイルのショーは大迫力で、園内ではコアラやカンガルーが放し飼いされていて、近くで見るとはもちろん触れたり餌をあげたりすることもできました。ザ・オージーな雰囲気一日かけて満喫しました。とても楽しかったです。

この留学生活を振り返ってみて、英語力に全く自信がなかった私でも、何とか外国で生きていけるのだなと感じています。人より秀でた何かが欲しいと思い留学を決意しましたが、知っている人が一人もいない場所で、一年間自力で生活したという事実は必ず自分を強くしてくれると思います。途中何度か、日本の学校で大学受験を意識しながら試験や課題をこなしていたほうが自分のためになったのではないかと思う時がありました。環境が大きく変わっても、物事をギリギリまで後回しにするなどの自分の弱い部分は治らず、英語ができないからという理由で逃げてきたことが沢山あったからです。もちろん、留学することがゴールではないと思いますし、そこで何を得たかが重要であることは理解しています。ただそれでも、自分で決めて留学した、やり切ったという事実が私にとって一番誇らしいことで、これから何をするたびに自信の根拠になると思います。逃げたりサボったりしたという記憶は自分の中にしか残らないですし、たくさん後悔していることはありますが、高校二年生の一年間を無駄にはしなかった、自信につながったと胸を張って今言えることが、留学してよかったと思える理由です。

一年間、楽しかったこともあれば辛い思いをしたこともたくさんありました。自分に自信が持てず、現地のバイリンガルカウンセラーの方に泣きながら一時間、話を聞いてもらったこともあります。その時、カウンセラーの方に頂いた「今自信が持てなくても、他人と自分を比較して落ち込んでいても、あなたの時代はこれから絶対にくる。保障する。」という言葉がずっと大切に感じています。先生や友達、ホストファミリーに助けてもらってばかりで何も自分でしていないと感じていた私に、手伝いたいと思わせるのも才能だよと励ましていただいたのも忘れません。改めて、このカウンセラーの方をはじめ両親や白鷗と現地校の先生、ホストファミリーや友達、東京都教育委員会の皆さんなどたくさんの方に支えられ、私は一年間安全に楽しく過ごせたのだと思います。世界的にコロナウイルスが流行する中で留学を続けることができたのもたくさんの方のご支援があってからこそだと痛感しています。この場をお借りしまして、本当にありがとうございました。留学で得たたくさんの経験やスキルを、次世代を担うリーダーとして様々な場所で生かしていければと思います。